

団体名：公益財団法人三重県国際交流財団

協働事業<つたわるネット>報告（7月分）

◎ 7月5日～6日に、仙台で行われたシンポジウムと被災地視察に参加しました。このシンポジウムは、東日本大震災で被災をした、岩手・宮城・福島三県の地域国際化協会により、「伝える・支える・立ちがる…未来に繋げ、私たちの経験」というテーマで行われました。

実際に震災時行動された方のお話をおおく聞くことができ、今後私たちが何をすべきか、協働事業でどう動くべきか、を考える上で、大変貴重な機会となりました。

被災地・南三陸町視察時の様子



いまだ瓦礫が多く残る



南三陸町防災対策庁舎

◎7月25日に、茨城県国際交流協会へ視察に行きました。同協会は東日本大震災時に多言語支援センターを設置した経験があり、その内容と方法について話をうかがいました。今後協働事業で多言語支援センターの設置マニュアルや要綱を作成する上で有益な情報を得ることができたため、今後に生かしたいです。

※今後の予定

8月7日 第3回つたわるネット推進会議